

式 辞

只今、卒業証書を授与した 218 名の卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます。今回の卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、規模が小さくなり、皆さんには、大変、申し訳なく思っております。その分、今日参列した教職員一同、皆さんの卒業を心から喜び、お祝いをいたします。改めまして、ご卒業おめでとうございませう。

さて、本日、卒業の日を迎えた12回生の皆さんは、本日をもって3年間慣れ親しんだ新座柳瀬高校を離れ、それぞれが自分で選んだ道を歩むこととなります。柳瀬高校での3年間を通じて多くのことを学び、経験し、生きる力を育んできました。これからは、本校で身に付けた力を糧にして、社会を担う人財として、活躍してくれることを信じています。

皆さんは、前任の高橋校長先生が、入学式でお話した3つのことを覚えていますか。「問いを持ち続けること」「挑戦する意欲を持つこと」「最後までやり抜く粘り強さを持つこと」でした。3年間の高校生活を振り返ってみて、どの程度、達成できたでしょうか。今、一度、思い返してみてください。

私からは、皆さんの卒業に際して、二つのことをお願いして、^{はなむけ}餞といたします。

一つ目は、これからもいろいろなことに果敢に挑戦し、自分の持っている資質や能力を高めてほしいということです。

皆さんは21世紀に生まれ、21世紀の中核となる人たちです。人工知能、ICT技術の進歩やグローバル化、人口減少など、日本はこれまでに経験したことのない時代を迎えます。私たちの生活は、より快適に便利に安全になるでしょう。一方では、AIの進歩により、人間の仕事を奪ってしまうかもしれないと危惧されています。

こうした時代だからこそ、逆にチャンスです。新しい技術革新「イノベーション」が生まれてきます。これを生かすには、学んだことや経験したことを土台として、これからも多くのことを学び、自分の可能性を信じて、失敗を恐れず果敢にチャレンジし、社会に貢献してください。

二つ目は、他者を思いやり、人と人との絆を大切にしてほしいということです。

2万2千人以上が犠牲となった東日本大震災から9年経ちましたが、いまだに避難生活を余儀なくされている人が大勢います。熊本地震の発生からも4年経とうとしています。さらに、昨年の台風被害や今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって、大切な家族や仲間を亡くした人もいます。そして、被災した地域では、多くの人たちがボ

ランティアとして復興の手助けをしています。

世界に目を向ければ、紛争が続き、多くの避難民を出している国もあります。人類がこれからも繁栄を続け、共存できる豊かな国際社会を築くためには、自分を大切にすると同じくらいに他者を思いやり、行動できることが大切です。

今年の夏には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。埼玉県でもいくつかの競技が開催されます。多くの国々の人と交流ができる機会です。国境を超えて、人と人との絆を築いてください。

最後になりますが、皆さんに言葉を一つ贈ります。

札幌農学校の教頭であったクラーク博士が、日本を去るにあたって、教え子たちに贈った有名な言葉です。「少年よ、大志を抱け」《Boys, be ambitious.》

皆さんの前途が輝かしいものになることを心よりお祈り申し上げます。

保護者の皆様。今日の日を迎えることができたのも、ひとえにご家庭の3年間のご支援をご協力があったからこそと存じます。心から祝意と敬意を表します。また、今日まで、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

今日の卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、保護者の皆様が、お子様の晴れの姿を見ることができなかったことは、私どもにとりましても断腸の思いです。

どうか、ご理解いただき、お子様の門出を共にお祝いしたいと思っております。

結びとなりますが、今後とも、新座柳瀬高校の教育活動に対しまして、変わらぬご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げ、式辞といたします。

令和3年 3月 10日

埼玉県立新座柳瀬高等学校長 鴨志田 新一